

共生ホーム

2013年6月15日

ひまわりの家

第61号

西淀川区佃1-10-16

(Tel) 6474-8788 (fax) 6474-8796

(E-mail) enchi@himawaritsukuda.jp



第3回ひまわりまつり

共生ホームひまわりの家

共生ホームひまわりの家の開設から3年になりました
共生ホームを支えていただいた地域の皆さんと、楽しいひとときをと、第3回ひまわりまつりが行われました。
当日は晴天に恵まれ、ひまわりの家の庭にたくさんの方がきていただきました。
午前十一時よりバザーや模擬店、自然市が始まるとたくさんの人だかり、地域交流ルームでは子どもたちの楽しい遊びが始まりました。
よるず相談会では、健康友の会の村上さんが「健康チェック」をかねて奮闘されました。
午後からは庭に設置された舞台にうつり、民謡、フラダンス、コーラス、学童の子どもたちの出し物等で楽しみました。
最後は地域交流ルームにうつり、大型の紙芝居、石川浩三とその仲間による「ブレイメンの音楽隊」に子どもたちの目がくぎ付けになっていました。
テレビ時代にこのような「紙芝居」が子どもたちにゆたかな想像力をふくらませ、心を育てる力があることを改めて知らされました。

ふれあいサロン ☆ デイサービス ☆ ボランティア 募集

赤ちゃんからお年寄りまで一つの屋根の下で過ごす居場所です。

あなたも一緒に過ごしませんか。 気楽にご連絡ください。

お話相手、利用者とお散歩に、入居者の夕食配膳のお手伝い、

犬(シェリー)の散歩、庭の花や植木の手入れ、水やり等々

(連絡先) (Tel) 6474-8788 (FAX) 6474-8796



ふれあいサロン (毎週木曜日、午前10時より午後3時まで)

誰でも利用できます。ひとりぼっちにならないように...

会費...700円(食事代+利用料)

食事のご希望の方はあらかじめご連絡ください。

デイサービスひまわりの家はこんなところ

木の温もりと太陽の光がいっぱい入るデイルーム。家庭的なスイートホームの雰囲気を大切に。そんな願いを込め定員10名のゆったりと過ごしていただけるデイサービスです。

小規模さを生かして、その人らしい日常生活にあわせた生活をつくります。

またハイキング、お花見、夏祭りなどの楽しい行事も...

お気軽にご連絡ください。



共生ホームひまわりの家の

ゆるやかルームに遊びに来てください



ひとりぼっちの子育てでなく、地域の人たちと緩やかに交わりながら、自分らしく過ごせる場、子育ての場にします。

学童期、思春期のこどもたちの自主的な活動の場にします。

場所 共生ホームひまわりの家(地域交流ルーム))

西淀川区佃1-10-16 (Tel) 6474-8788



第3回 ひまわりまつり



学童保育所の子どもたち
まりつきや剣玉に挑戦しました。



石川浩三とその仲間による
「ブレイメンの音楽隊」の大型紙芝居

共生ホームひまわりの家の人と顔

共生ホームには5名の入居者が生活しています。
それぞれ80年、90年の人生を歩んできました。
そして今ひまわりの家で共同生活をしています。
これからその人たちの「人と顔」を連載で紹介します。
今回は最年長者「平岡八重子さん」です。



中央が平岡八重子さんです
右は長男のお嫁さん、毎日曜日にはおやつを持って会いに来てくれます。

母に想つ

母は明治四十五年尼崎市で生まれ、今年七月に満百一才の誕生日を迎えます。
二年ほど前から足腰の不自由を感じるようになり、今は「ひまわりの家」にお世話になって、日々大切に介護をいただき、感謝いたしております。
母は尼崎市の高等女学校を卒業して、二十二才の時大阪市西淀川区佃に鎮座する田養神社の宮司の長男に嫁ぎ、一女二男に恵まれました。
しかし、昭和十九年に夫と宮司を務めていた祖父が相次いで他界し、三十三才の若さで未亡人となりました。
母は三人の子どもを抱えながら神社の諸般一切と家事全般を女手一人で引き受けざるを得なくなりました。
そのため、古い歴史を紡ぐ田養神社の由緒ある伝統を守るため、急遽宮司の資格を取得するため勉強に励み、当時女性としては珍しいとされた「正階位」に合格し、田養神社第十七代宮司となり六十才まで神明奉仕に尽くしました。
その傍ら佃幼稚園を設立し地域社会に「奉仕」をして参りました。
その後第十八代宮司として次男が田養神社と佃幼稚園を継承し、職務を全うされ、現在はその長男が第十九(代)の宮司を務めており、その頼もしい姿に母も安堵しているようです。

井尾 久代(長女)



上)八重子(八十才)の頃
下)女学校時代、級友たちと(十七才)



前列左が八重子さん



平成15年7月5日(78才)
(長男)永之と(長女)久代



昭和二十年田養神社第十七代
宮司となった頃(二十四才)